

事務事業名	中学校教育系PC保守業務		所属部局	教育委員会		単位番号	12073					
			所属課室	教育総務課		課長名	新津岳					
	☐ 実施計画事業		所属担当	学事担当		担当者名	米山一樹					
基本政策	基本計画体系	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目	
		01	一般		10	03	01	090	03			
政策		23	学校教育の充実	事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☒ 施設等維持管理事業							
施策		37	学校施設の整備充実		☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業							
	☐ 市の制度による義務的事業 ☐ その他の事業											
				☐ 義務化されている協議会等の負担金								
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 年度) 期間限定複数年度 (年度)			法令根拠								
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 新学習指導要領(h14～)に基づき、情報教育を充実するために、全ての教室で児童及び教員がインターネットを活用できる環境を保守する。 また、平成17年度より「南アルプス市教育系パソコン整備計画」を策定し、中学校間で統一した整備を実施、維持管理については、市内の教育用パソコン端末機器等を一括して保守管理するとともに修繕を行う。 (教育用パソコン620台、プリンター30台、電子黒板7台)				事業費の主な内訳 (24年度 決算見込)							
					項目(細節)		金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)	
					修繕料		74					
					委託料		1,949					
				計		2,023						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
24年度活動実績	教育系ネットワーク及びシステム機器等の保守
25年度活動予定	平成24年度を以って廃止。
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
中学校教育系PC	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
良好な操作環境を確保	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
学校施設の充実	

⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない
	名称 単位
⇒	アイウ 保守契約数 件
⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない
	名称 単位
⇒	アイウ システム機器数 台
⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない
	名称 単位
⇒	アイウ 故障数 件
⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない
	名称 単位
⇒	アイウ 修繕数 件

(2) 事業費・指標の推移				単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込・実績)	25年度 (予算・目標)	26年度 (次年度計画・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 (トータルコスト・目標)	年度
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円								
			県支出金	千円								
			地方債	千円								
			その他	千円	362	865	0	0	0			
			一般財源	千円	1,253	1,158	0	0	0			
	事業費計 (A)			千円	1,615	2,023	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1							
		延べ業務時間	時間	56	56							
		人件費計 (B)	千円	222	222	0	0	0	0	0	0	
	(A)+(B)			千円	1,837	2,245	0	0	0	0	0	
活動指標		アイウ	件	2.0	2.0							
対象指標		アイウ	台	657.0	657.0							
成果指標		アイウ	件	64.0								
上位成果指標		アイ	件	64.0								

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	新学習指導要領(h14～)に基づき開始され、平成17年度より「南アルプス市教育系パソコン整備計画」を策定し、小学校間で統一した整備を実施
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	平成25年度より実施される第二次整備計画により保守範囲が縮小される。縮小範囲は整備計画の契約内容により増減するため、マネジメントシート作成時には予測となる。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	教職員からセキュリティについて、万全な対策を望まれている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☒ 取り組みしている ⇒【内容↓】 ☐ 取り組みしていない ⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	端末機器類をそれぞれに保守するのではなく、一括して保守することによって経費の削減
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	一括購入、一括保守で経費の削減

事務事業名	中学校教育系PC保守業務	所属部	教育委員会	所属課	教育総務課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 コストが削減されている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 義務教育に係る経費である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 ☐ 民間・NPO ☐ 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 義務教育に係る経費である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 必要最小限の保守業務である。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☒ 影響なし ☐ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 使用不能になる。 ☐ 休止・廃止ができる ☐ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 使用不能になる。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要台数の増減がない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☒ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 故障等の弦によっては削減できる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 すべて一括して契約している。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	パソコンの整備については、平成21年度に全中学校への更新が終了した。今後も整備されたパソコンや周辺機器類の保守について効率よく進めていく。 また、平成25年度より実施される第二次整備計画のプロポーザルの結果に伴い、本事業の縮小が見込まれる可能性がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☒ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>☐</td> <td>☐</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>☐</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☐		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☐	☐																		
	維持	☐	☐																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について																						
① H25年度以降は第二次ネットワーク整備事業における保守となるため、この事業自体はH24年度を以って廃止する。 ② ③																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
① ② ③	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																					